

## アカミミガメ



亜種 ミシシippアカミミガメ  
写真：名古屋市水辺研究会提供

亜種ミシシippアカミミガメが、ミドリガメとして流通している。在来のカメ等に悪影響を与えるおそれがある

## ワニガメ



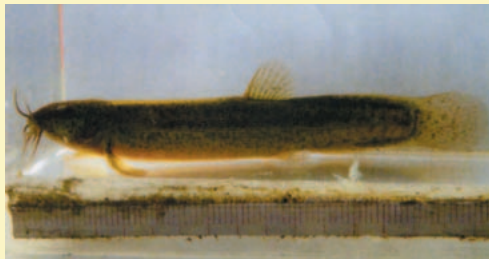
近年、県内でも発見されることが多い。捕食による生態系被害のおそれがあるほか、かむ力が強いので、人体への危害のおそれもある。

## オヤニラミ



西日本原産であるが、県内の数河川に定着している。肉食性であり、在来生態系に悪影響を与えるおそれがある。

## カラドジョウ



写真：名古屋市水辺研究会提供

食用や観賞用肉食魚の餌魚として輸入されている。在来ドジョウ等に悪影響を与えるおそれがある。

## ナイルティラピア



写真：名古屋市水辺研究会提供  
群泳の様子

食用として日本に導入されたが、名古屋市内の河川で毎年繁殖している。雑食性であり、在来生態系に悪影響を与えるおそれがある。

## スクミリンゴガイ



別名ジャンボタニシ。県内平野部に広く分布している。在来巻貝の圧迫や水草の食害などのおそれがあるほか、稲等の農作物への被害も問題となっている。

## スイレン属 (ヒツジグサを除く。)



写真：浜島繁隆氏提供

観賞用として人為的に植栽されることが多い。ため池等で水面を覆い、在来の水草に悪影響を与える等、問題となっている。  
(ヒツジグサは県内在来種のため対象外)

## ハゴロモモ



写真：浜島繁隆氏提供

フサジュンサイ、カボンバの名で、熱帯魚店等で流通している。在来の水生植物に悪影響を与えるおそれがある。

## ハビコリハコベ (園芸名：グロッソスティグマ)



グロッソスティグマの名で、熱帯魚店等で流通している。在来の水生植物に悪影響を与えるおそれがある。

## ナガバオモダカ



写真：浜島繁隆氏提供

観賞用の水草として、熱帯魚店等で流通している。在来の水生植物に悪影響を与えるおそれがある。

## キショウブ



観賞用として河川、池沼に人為的に植栽されることが多い。在来の水生植物に悪影響を与えるおそれがある。

### 自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例（関係部分）

（移入種の公表等）

第五十五条 知事は、人為的に移入された動植物の種（以下「移入種」という。）で、県内における地域の在来種を圧迫し、その生態系に著しく悪影響を及ぼすおそれのあるものを公表するものとする。

2 何人も、みだりに前項の規定により公表された移入種の生きている個体を放ち、又は植栽し、若しくはその種子をまいてはならない。